

## 第2章 江差町の概況

### 第1節 江差町の地勢と災害の概要

#### 第1 地勢及び気候風土と災害

##### 1. 地勢

江差町は函館市から約 80 km、渡島半島の西海岸に面し、上ノ国町・厚沢部町・乙部町に隣接している。

総面積は 109.53 km<sup>2</sup>、東西 10 km、南北 17 km、中央部は厚沢部川を境として厚沢部町が深く入りくみ、南と北は二分した地形をなしている。南部は山岳が多く笹山及び元山が町境で分水嶺をなし、山麓と丘陵をなして海岸線に迫っている。

鷗島は、天然の防波堤を形づくり、市街地はこの対岸に発達し、現在は背後の丘陵地帯を中心に形勢されている。

河川は渡島半島の分水嶺から発した厚沢部川・田沢川及び楢川等が主な河川となっている。

厚沢部川流域は農耕地・放牧地であるが、南部はわずかに小河川の流域と海岸沿の段丘地が農耕地として利用されているに過ぎず、その大部分は山林地帯となっている。

##### 2. 気候

気候は、北上する対馬暖流の影響を受け、比較的温暖で全道的にみても気温の高い地域である。

しかし、11月から3月にかけては、季節風の影響を受け北西の風が強く、全国的にみても強風地帯といえる。

資料3-1 月別平均値

##### 3. 災害の概要

町内で発生した災害の概要は、資料3-2のとおりである。

資料3-2 災害の概要

